平成３０年度　事業報告

Ⅰ．事業概況

我が国におきましては、少子高齢化の急速な進展により人口が減少し、労働力不足が深刻な社会問題となるとともに、高い就業意欲や地域社会の様々な活動への参加意識を持った高齢者が増加しております。

こうした中で、シルバー人材センターに対する国や地域社会の期待は一層大きなものとなっており、当センターにおきましては、人手不足分野などの現役世代を支える分野での労働力確保に貢献するとともに、就業機会の拡大や会員の拡充など、生涯現役社会の実現に向けた様々な取り組みを進めたところであります。

その結果、受託事業（請負・委任）の事業実績につきましては、前年度より6.5%増の709,122千円余となり、設立以来初めての７億円を超えることができました。

また、会員数につきましても、前年度におきましては1,600人を下回ってしまいましたが、本年度末におきましては、1,600人台を回復し、1,626人となりました。

当センターにおきましては、これからも地域に根差した計画的な活動を展開し、公益法人としてふさわしい責任を果たすため努力して参ります。

Ⅱ．シルバー人材センター事業

１　就業機会提供事業

（１）会員の状況

年度当初1,592人の会員数でスタートし、ピーク時には1,656人にまで達しましたが、その後年度末まで減少したものの、年度当初より34名増加し1,626人となりました。

入会理由は、生きがい・社会参加が125人で全体の 45.3%を占め、次いで時間的余裕が61人で全体の22.1%となり、昨年度と比べ5.3ポイント上昇しました。

退会理由は、病気が47人で全体の19.4%を占め、会費未納が45人で全体の18.6%となりました。

年齢別会員構成は、前年度と同じく70歳～74歳が576人で全体の35.4%と最大であり、前年度3番目であった75歳～79歳が420人で全体の25.8%で2番目に多くなりました。

［会員登録の状況］

区分	当年度（人）			前年度（人）			対比増減（人）			増減率（%）		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
入　会	183	93	276	133	69	202	50	24	74	37.6	34.8	36.6
退　会	166	76	242	147	78	225	19	△ 2	17	12.9	△ 2.6	7.6
会員数	1,143	483	1,626	1,126	466	1,592	17	17	34	1.5	3.6	2.1

［入会理由］

内　　容	人　　数	比　　率
生きがい・社会参加	125 人	45.3 %
時間的余裕	61 人	22.1 %
経済的理由	39 人	14.1 %
健康維持・増進	32 人	11.6 %
仲間作り	12 人	4.3 %
その他	7 人	2.5 %
計	276 人	―

［退会理由］

内　　容	人　　数	比　　率
病気	47 人	19.4 %
会費未納	45 人	18.6 %
希望する仕事なし	39 人	16.1 %
その他で就職	36 人	14.9 %
加齢	33 人	13.6 %
就業機会なし	18 人	7.4 %
死亡	9 人	3.7 %
転居	7 人	2.9 %
家庭の事情（介護等）	6 人	2.5 %
シルバー事業を通じて就職	1 人	0.4 %
他団体への加入	1 人	0.4 %
計	242 人	―

［年齢別会員構成］　　単位：人

区分	60 未満	60 ～64	65 ～69	70 ～74	75 ～79	80 以上	計
男	0	38	293	409	298	105	1,143
女	0	30	118	167	122	46	483
計	0	68	411	576	420	151	1,626

（２）請負・委任による事業実績

①　受託件数

受託した仕事の件数は、11,474件でした。内訳は、公共事業505件（4.4%）、民間事業（一般家庭含む)10,891件（94.9%）、独自事業78件（0.7%）でした。

②　就業人員

年間就業延人員は、129,476人でした。年間就業実人員は、1,167人となり就業率は71.8%でした。

③　事業収入

受託事業収入は、709,122,978円となり、前年度との比較では43,031,335円（6.5%）増の実績となりました。

職群別契約金額の主なものとしては、除草や屋外雑役など一般作業群が最も多く、339,047,970円（47.8%）、次いで駐輪場・駐車場整理など管理群の231,228,004円（32.6%）、３番目が植木せん定や表具・表装など技能群の94,745,233円（13.4%）で、以上の３職群で全体の93.8%を占めています。

［事業実績］

区　分		受託件数（件）	延人員（人日）	契　約　金　額　（円）			
				配分金	材料費	事務費	契約金額
技　術		35	366	1,519,676	0	141,946	1,661,622
技　能		2,357	9,961	72,293,102	15,684,077	6,768,054	94,745,233
事務整理		567	4,037	14,073,867	500	1,314,450	15,388,817
管　理		392	35,576	180,648,958	32,471,342	18,107,704	231,228,004
折衝外交		57	717	3,149,508	0	314,908	3,464,416
一般作業		6,740	71,645	300,072,961	9,450,159	29,524,850	339,047,970
サービス		1,326	7,174	21,225,246	198,748	2,162,922	23,586,916
合　計		11,474	129,476	592,983,318	57,804,826	58,334,834	709,122,978
公　共		505	39,685	218,713,643	37,651,020	21,803,185	278,167,848
民間	企　業	4,269	64,951	253,939,345	2,874,417	25,072,683	281,886,445
	家　庭	6,622	22,804	116,044,265	15,313,190	11,309,526	142,666,981
独　自		78	2,036	4,286,065	1,966,199	149,440	6,401,704
合　計		11,474	129,476	592,983,318	57,804,826	58,334,834	709,122,978

（３）労働者派遣事業

労働者派遣事業は、60歳以上の派遣労働を希望する会員に対し、「臨時的かつ短期的又は軽易な業務」に係る派遣労働を提供する事業です。当センターも平成26年10月から事業提供を始めました。

区　分	29年度	30年度	増　減
派遣登録者数	42 人	26 人	△ 16人
派遣先件数	25 件	22 件	△ 3件
労働実人員	57 人	51 人	△ 6人
就業延人員	5,549 人日	6,068 人日	519 人日
契約金額	28,770,089 円	30,233,794 円	1,463,705 円
協力費額	2,407,247 円	2,561,707 円	154,460 円

（４）職業紹介事業

職業紹介事業は「臨時的かつ短期的又は軽易な業務」に係る雇用就業を提供する事業です。実績については以下のとおりです。

区　分	29年度	30年度	増　減
求　人　事　業　所	27 件	38 件	11 件
求　　人　　数	80 人	94 人	14 人
新規求職申込件数	56 件	72 件	16 件
就　職　人　数	16 人	27 人	11 人
賃　　金　　額	3,186,842 円	5,969,230 円	2,782,388 円
手　　数　　料	344,688 円	644,328 円	299,640 円

2　就業機会確保事業

（１）普及啓発事業

会員増強及び就業開拓の一環として年間を通してＰＲを展開するとともに、以下の事業に取り組みました。（通年ＰＲ活動）

期　日	内　　容
8月中	市役所恩給会会員への機関誌送付時にチラシを同封
9月中	市経済部の協力のもと、宇都宮、清原、瑞穂野の3つの工業団地の管理協会及び協同組合を通し、各団体登録企業へ会員募集用ポスター及びチラシ配布依頼
10月初旬	市内郵便局へポスター、チラシの配布
10/22～26	市役所1階ロビーにてシルバーパネル展を開催。シルバー人材センター事業をPR
10/27～28	宇都宮市中央学習センター・中央市民活動センター文化祭に参加。独自事業による飲食、製品等の販売を兼ねてシルバーの活動をPR
11/23	福祉の祭典に参加。独自事業による飲食、製品等の販売を兼ねてシルバーの活動をPR

①　より見やすくわかりやすいホームページにするため、リニューアルの準備をしました。

②　会員による「口コミ運動」を実施しました。

③　公益財団法人栃木県シルバー人材センター連合会主催「高齢者活躍人材育成事業」の講習会閉講式に参加し入会促進に努めました(施設予約受付他2回)。

④　シルバー人材センター事業普及月間の10月に、ボランティア活動を以下のとおり実施しました。

期　日	ボランティア内容	参加人数
10月10日	上河内地域奉仕作業	60 人
10月15日	河内地域奉仕作業	52 人

⑤　会報「シルバーだより」を発行し（平成30年10月1日）、全会員に配布しました。

⑥　みやシニア活動センターなど高齢者の健康と生きがい作りを推進する団体と連携を強化し、センター事業の周知を図りました。

（２）安全・適正就業推進事業

〈安全就業推進事業〉

会員の就業時における事故防止策を推進するため、安全委員会を設置し安全就業強化月間の7月と11月を中心に、委員及び職員による就業現場のパトロールを実施しました。

また、管理業務に就業する会員を中心に消防訓練を実施し、会員の安全意識の高揚に努め、就業案内や技能講習会等においても安全就業の徹底を推進しました。

内容等	期日等	日数・人員
安全パトロール	宇都宮事務局 7月24日・26日・27日 11月26日・27日・29日 北部事業所 7月24日・25日・26日 11月14日・12月5日・7日	 3日間・延9人 3日間・延8人 3日間・延9人 3日間・延6人
消　防　訓　練	農業構造改善センター 6月20日 12月19日 市営駐輪場 2月20日	 12 人 12 人 15 人

〈会員事故報告〉

「目標」である「事故撲滅」にむけ、各職群班班長会議において職群班員への周知及び安全意識の啓蒙に努めました。

区　分	29年度			30年度			増　減
	支払日	事故日		支払日	事故日		
	件 数	H29	H28	件 数	H30	H29	
傷害保険	11 件	10 件	1 件	12 件	10 件	2 件	1 件
賠償保険	5 件	5 件	0 件	4 件	4 件	0 件	△ 1 件

〈適正就業推進事業〉

会員及び発注者にパンフレット等でセンター事業のシステムを明示し、適正就業の理解と協力を求めました。

就業規約に基づき、継続就業期間が基準を超えないよう複数会員による交代制（わかちあい）就業を実施するとともに、就業案内等で交代会員の通知・募集を行うことにより、適正就業の推進並びに公平な就業機会の提供に努めました。

請負・委任にそぐわない事業については、依頼主に労働者派遣事業や職業紹介事業に切り替えてもらえるよう努めました。また、「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」を使用し、役職員への研修や発注者への説明も継続して行いました。

（３）就業開拓事業

①　4月から11月までの期間は、入会希望者を対象とした新入会員説明会を月2回開催し、就業会員の拡充を図りました。

［平成30年度事業所別入会者数］

宇都宮事務局	北部事業所	計
235 人	41 人	276 人

②　職群班会員等による就業先近隣家庭へパンフレットを配布し、受注拡大の促進に努めました。

③　職群班（植木・除草・ホームサポート等）を中心に事務局・事業所間の連携を深め円滑な事業運営ができるよう体制づくりに努めました。

④　センター事業を広く知っていただくため、以下のイベントに参加し、事業のＰＲを積極的に行い就業開拓に努めました。

期　　日	内　　容
5月20日	フェスタｍｙ宇都宮
10月27日～28日	生涯学習センター文化祭
11月23日	市民福祉の祭典

（４）研修・講習事業

①　会員の資質向上と就業機会の確保を図るため、以下の研修・講習会を開催しました。

研修・講習会名	講習日程	講習日数	参加延人員
襖・障子張替え講習会	5月16日～18日	3 日間	62 人
駐輪場接遇研修	7月10日・11日	2 日間	175 人
ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ講習会	12月7日	1 日間	16 人
植木せん定講習会	1月22日～24日	3 日間	131 人
駐輪場接遇講習会	2月12日・13日	2 日間	160 人

②　駐輪場管理班、植木班、除草班等でグループミーティングを行い、就業におけるトラブル対策等に努めました。

（５）独自事業

会員の就業機会を確保するため、会員の創意と工夫により以下の独自事業を実施しました。また、イベントに参加し各種ＰＲに務めました。

事業内容	29年度		30年度		増減	
	延人員	金　額	延人員	金　額	延人員	金　額
編みぐるみ創作	566 人	409,982円	758 人	502,792円	192	92,810
刃物砥ぎ	2 人	3,100円	6 人	8,140円	4	5,040
豆ぞうり創作	0 人	0円	4 人	1,200円	4	1,200
石けん製作	225 人	118,850円	189 人	151,250円	△ 36	32,400
門松製作	143 人	1,448,600円	152 人	1,427,800円	9	△ 20,800
食堂運営	1,007 人	4,514,706円	927 人	4,310,522円	△ 80	△ 204,184
計	1,943 人	6,495,238円	2,036 人	6,401,704円	93	△ 93,534

（６）相談・調査事業

① 宇都宮事務局においては4月から11月までは月2回、12月から2月までは月1回、また北部事業所においては4月から2月まで毎月1回役員による新入会員説明会後の面談を行い新入会員の就業相談を行うとともに、原則毎週水曜日に世話役及び職員が中心になって就業相談を行い、就業機会の提供に努めました。

区　分	年間開催回数	参加延人数
本　　部	47 回	858 人
北　　部	11 回	44 人
合　計	58 回	902 人

（７）地域貢献事業

女性部会のメンバーによる「ぞうきん製作」を行い地域社会への貢献とＰＲに努めました。

期　日	ボランティア内容	参加人数
毎月第4金曜日	ぞうきん100枚製作 宇都宮市社会福祉協議会へ寄贈	平均5名の参加 1回/年

（８）高齢者活用・現役世代サポート事業

地域における人手不足分野等に係る取組みを行い、就業希望者とのマッチングにより就業拡大を推進しました。

（９）介護予防・日常生活支援総合事業

平成29年11月1日に介護予防・日常生活支援総合事業第1号訪問事業（訪問型サービスＡ）として事業所指定を受けました。個別に訪問を行うなど普及啓発に努めたところ、9月からサービスを提供するに至りました。

［事業実績］

区　分	受託件数（件）	延人員（人日）	契　約　金　額　（円）			
			配分金	材料費	事務費	契約金額
介護予防・日常生活支援総合事業	13	49	62,400	0	45,180	107,580

3　法人運営

（１）定時総会の開催

会議の名称	開催年月日	議　事　等
第39回定時総会	平成30年6月15日	議案　1 平成29年度事業報告について 2 平成29年度決算について 3 役員の選任について 報告　1 平成30年度事業計画について 2 平成30年収支予算、資金調達及び設備投資の見込みについて

（２）理事会の開催

会議の名称	開催年月日	議　事　等
第1回理事会	平成30年5月18日	報告　1 専決処分の報告について（平成30年4月） 2 平成29年度事業実績及び業務状況報告について（平成29年2月～3月） 議案　1 平成29年度事業報告について 2 平成29年度決算報告について 3 役員候補者について 4 地域班世話役の選任について 5 表彰候補者について 6 第39回定時総会の開催について
第2回理事会	平成30年6月15日	議案　1 理事長、副理事長及び専務理事の選定について
第3回理事会	平成30年9月10日	報告　1 専決処分の報告について（平成30年5月～8月） 2 平成30年度事業実績及び業務状況報告について（平成30年4月～7月） 議案　1 公益社団法人宇都宮市シルバー人材センター事務局職員退職手当基金規程の廃止について 2 公益社団法人宇都宮市シルバー人材センター事務局職員の給与及び旅費に関する規定の一部改正について 3 平成30年度収支予算の補正（第1号）について 4 地域班世話役の選任について

会議の名称	開催年月日	議　事　等
第4回理事会	平成30年12月14日	報告　1 専決処分の報告について （平成30年9月～11月） 2 平成30年度事業実績及び業務状況報告について （平成30年8月～10月） 議案　1 公益社団法人宇都宮市シルバー人材センター事務局職員の給与及び旅費に関する規定の一部改正について 2 第４次基本計画について 3 地域班世話役の選任について
第5回理事会	平成31年3月14日	報告　1 専決処分について （平成30年12月～平成31年2月） 2 平成30年度事業実績及び業務状況報告について （平成30年11月～平成31年1月） 議案　1 平成30年収支予算の補正（第2号）について 2 平成31年度事業計画について 3 平成31年度収支予算、資金調達及び設備投資の見込みについて 4 地域班世話役の選任について

（３）監査の開催

会議の名称	開催年月日	議　事　等
監　　査	平成30年5月10日	平成29年度事業報告及び決算について

Ⅲ．事業報告の附属明細書

平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。